



jama
Japan Automobile Manufacturers Association

第11回
自工会 二輪車委員会
メディアミーティング



2025年1月30日
一般社団法人日本自動車工業会
二輪車委員会

ご来場のみなさまへのお願い



スマートフォン・携帯電話は
マナー設定をお願いします

日本自動車工業会 二輪車委員会 委員長
日本自動車工業会 常務理事

設楽 元文
江坂 行弘

二輪車企画部会 部会長
二輪車企画部会 副部会長

川瀬 信昭
飛田 淳司

本日のプログラム

◆ 自工会 二輪車委員会 設楽委員長挨拶

◆ テーマ

自工会 二輪車委員会 委員長就任ご挨拶および2025年国内二輪市場の展望

- ・二輪車委員会2025年度活動方針
- ・2024年市場概況振り返り
- ・二輪車産業政策ロードマップ2030政策課題の達成に向けた取組
- ・2025年の市場展望

◆ 質疑応答

◆ 常務理事総括

◆ 委員長総括

◆ フォトセッション

日本自動車工業会
二輪車委員会 委員長

設楽 元文

(ヤマハ発動機株式会社 代表取締役 副社長執行役員)

自己紹介

- ・名前 : 設楽 元文 (したら もとふみ)
- ・生年月日 : 昭和37年10月29日 62歳
- ・出身 : 埼玉県
- ・趣味 : ツーリング、キャンプ、読書、スイミング、靴磨き
- ・座右の銘 : 雨ニモマケズ、風ニモマケズ...

■ 職務経歴

- ・1986年 : ヤマハ発動機株式会社 入社
- ・1986年 : 卸営業 神奈川・埼玉・千葉
- ・1993年 : MC商品企画
- ・1999年 : 経営SG ブランド戦略担当
- ・2003年 : ME商品企画、ME事業企画、ME事業部
- ・2016年 : ME事業部長 執行役員
- ・2017年 : 企画・財務本部 副本部長 執行役員
- ・2018年 : ヤマハモーターインディアG 会長、(兼) 社長 執行役員
- ・2022年 : コーポレート担当 取締役 上席執行役員
- ・2024年 : 代表取締役 副社長執行役員





2025年度 自工会 二輪車委員会方針

＜日本市場含むグローバル課題＞

- ・2050年カーボンニュートラルに向けた二輪車としての取組み
- ・二輪市場の健全な発展とユーザーの利便性を高める環境づくり
- ・IMMA/JASICの活動を通じた日本発の二輪車国際安全環境法規の制定
- ・アジアの健全な技術基準調和の推進と、アセアンMRAの円滑な運営促進
- ・世界的な環境課題についての正しい議論への誘導と適切な施策の推進
- ・交通事故/死者数削減に向けた世界各国政府/行政と連携した産業界としての取組みの推進
- ・グローバルでの取組みを強化/加速させるための体制強化に向けたリーディング

【日本市場限定課題】

- ・経済産業省・関係団体と連携した二輪車産業政策ロードマップ施策推進
- ・二輪ファンづくりにつながる積極的な情報発信



4つの政策課題

事故死者数ゼロ

カーボンニュートラル達成への貢献

購入・利用環境の整備と社会・他モビリティとの共生

快適・楽しさの訴求

11の施策



二輪車産業政策ロードマップ2030に基づく施策を展開

最重点課題



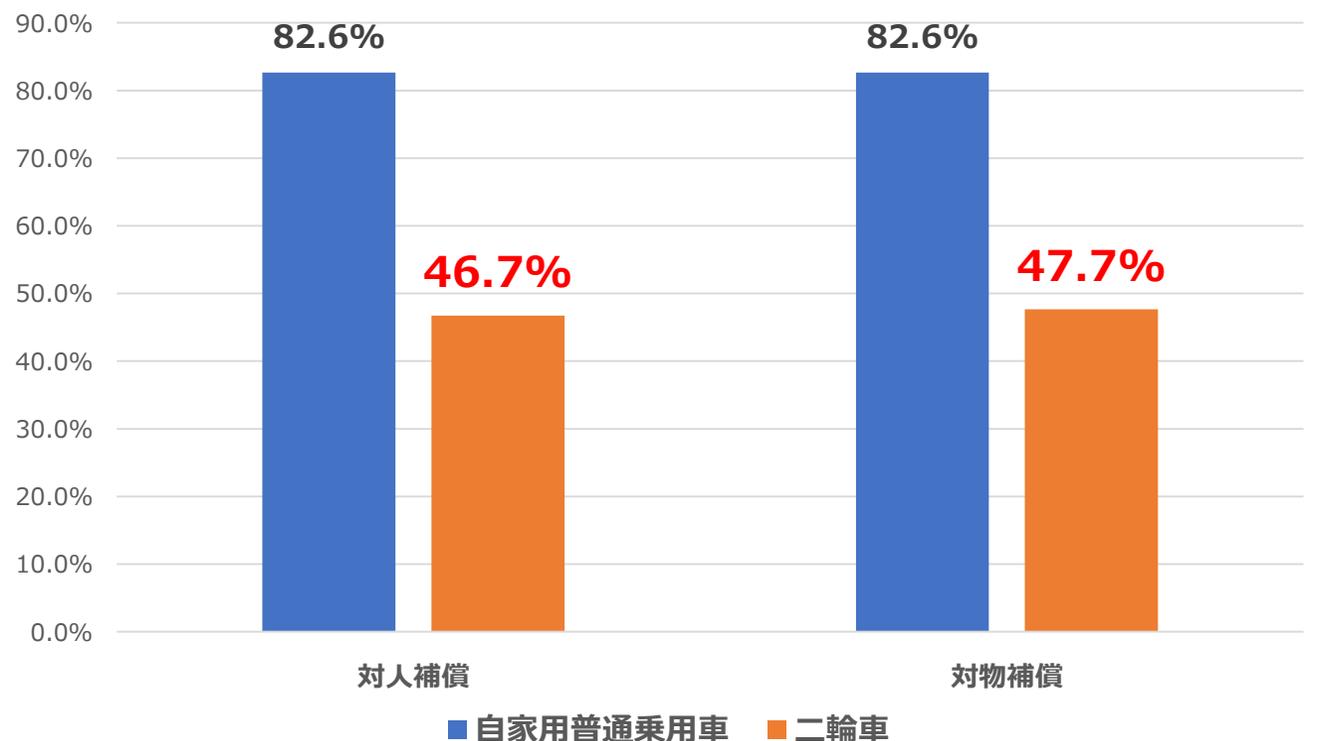
- 二輪車の任意保険普及率
- 新基準原付施行
- 二輪駐車場整備
- 二輪車の魅力訴求

二輪車の任意保険普及率

課題

2024年3月時点で、国内には約396万台ものバイク（排気量125cc超）が保有されているがファミリー特約など自動車保険に付帯するバイクの任意保険を除くバイク単独での任意保険の加入率は低く約46.7%（対人補償）という統計

任意自動車保険 用途・車種別普及率



普及率を高めるには…

損害保険料率算出機構「2023年度 自動車保険の概況」より

課題

普通自動車付帯免許並びに原付免許で 原付二種（総排気量50cc超125cc以下で最高出力制御なし）に 乗れるという誤解を防ぐこと

道路交通法(以下、道交法)及び道路運送車両法 施行規則の一部改正が2024年11月13日に公布(道交法の施行日は2025年4月1日。車両法は11月13日より施行)。一部改正により排気量125cc以下かつ最高出力4.0kW以下へ制御した二輪車が新たに一般原動機付自転車(原付)へ区分(追加)されることとなりますが、
多くの方が普通自動車付帯免許並びに原付免許で原付二種に乗れると誤解されている



- 原付免許で運転できるのは、あくまでも最高出力が**4.0kW以下**へ制御された
総排気量**125cc以下の二輪車(新基準原付)**であること
- 新基準原付は、現行原付(総排気量50cc以下)と同じルールが適用されること

対応

多くの方の誤解を回避するために自工会二輪車委員会は積極的に広報活動を行います

- 時期…2025年4月1日以降
- 媒体…ポスター・デジタルサイネージ
MOTOINFO記事
JAMA公式 X/Instagram/Facebook

MOTOINFO
Motorcycle Information



- 方法…運転免許試験場、指定自動車教習所
自工会ホームページ・公式SNS
販売会社ホームページ、BLF加盟団体
販売店

デジタルサイネージ



ポスター



※デザインは変更となる場合がございます

対応

原付一種専用駐車場へ新基準原付の受け入れを要望した結果、利用者の利便性向上に向け 国交省から各自治体に対し自動二輪車等の駐車場対策における検討依頼が出されました

文面より一部抜粋

また、原動機付自転車と近い駐車需要がみられる自動二輪車の駐車対策については、従前より、駐車場政策担当者会議等において、各位に対し、その推進が図られるよう周知を行ってきたところ、全国でも着実に駐車場が整備されてきておりますが、一方で、地域によっては未だに不足しており、その充実が求められています。

多様なモビリティの駐車環境の確保の観点から、自転車等駐車場施策と駐車場法に基づく駐車場施策の連携を図り、自転車等駐車場や自動車駐車場における自動二輪車及び原動機付自転車（特定小型原動機付自転車を含む）の受入れ等の施策についても積極的に推進していただきますよう、宜しくお願い申し上げます。
新基準原付については、小型自動二輪車に近い車両の規格と想定されていることから、上記の対応に当たっては、必要に応じて既設の自転車駐車場又は自動車駐車場において、車両区分及び規格のみなおし並びに車両を受け入れるための改良をすることも検討するようお願いいたします。

各都道府県、各政令指定都市におかれましては、貴管内市町村（政令指定都市を除く。）及び関係団体に対しても、本通知の内容について周知をお願いいたします。

国 都 街 第 89 号
令和 6 年 11 月 13 日

各都道府県担当部長
各政令指定都市担当部長 へ

国土交通省都市局
街路交通施設課長

道路交通法施行規則の一部を改正する内閣府令等の施行に伴う駐車環境の整備
に向けた取組の推進について

各位におかれましては、日頃より駐車場行政の推進に御尽力を賜り、厚く御礼
申し上げます。

今般、道路交通法施行規則の一部を改正する内閣府令（令和 6 年内閣府令第 98
号）において、最高出力を 4.0kW 以下に制限した総排気量 125cc 以下の二輪車が、現在は 50cc 以下とされている一般原動機付自転車と区分され、総排気量が 50cc を超え 125cc 以下の二輪車のうち、最高出力を現行の原付と同レベルの 4.0kW 以下に制限したもの（以下、「新基準原付」という。）を原付免許で運転できるように改正が行われたところです。（施行日：令和 7 年 4 月 1 日）

これにより、自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律（以下、「自転車法」という。）に基づく自転車等の対象に新基準原付が追加されることから、新基準原付を含む自転車等の駐車環境の確保に適切に取組む必要があります。また、現在自転車等駐車場の管理に関する条例等において道路交通法に基づき駐車可能車両を規定している場合は、新基準原付が含まれることとなることから、駐車場における標識や案内等においても、新基準原付が駐車できるよう、連携なく対応をお願いします。

なお、道路交通法施行規則の一部を改正する省令（令和 6 年国土交通省令第 99 号）においても、第一種原動機付自転車に新基準原付が追加されたことから、道路交通法に基づき条例等において駐車可能車両を規定している場合も同様です。

また、原動機付自転車と近い駐車需要がみられる自動二輪車の駐車対策については、従前より、駐車場政策担当者会議等において、各位に対し、その推進が図られるよう周知を行ってきたところ、全国でも着実に駐車場が整備されてきてお

地域によっては未だに不足しており、その充実が求められて

の駐車環境の確保の観点から、自転車等駐車場施策と駐車場法の連携を図り、自転車等駐車場や自動車駐車場における自動二輪車（特定小型原動機付自転車を含む）の受入れ等の施策についても積極的に推進していただきますよう、宜しくお願い申し上げます。また、新基準原付については、小型自動二輪車に近い車両の規格と想定されていることから、上記の対応に当たっては、必要に応じて既設の自転車駐車場又は自動車駐車場において、車両区分及び規格のみなおし並びに車両を受け入れるための改良をすることも検討するようお願いいたします。

各指定都市におかれましては、貴管内市町村（政令指定都市を除く。）及び関係団体に対しても、本通知の内容について周知をお願いいたします。

参考：国交省ホームページ自動二輪車等の駐車対策より

https://www.mlit.go.jp/toshi/toshi_gairo_tk_000039.html

課題

ここ数年ユーザーイベントは各社や用品店及び各団体に留まらず
SNSを通じた仲間が集まるイベントが活性化
今後もライダーに安全で楽しいバイクライフを過ごしていただく施策が必要

BLF関連イベント

バイクの日イベント



ツーリング
キャンペーン



2024年 国内二輪市場総括

2024年 二輪車排気量別登録・出荷実績

自工会調べ

※小型二輪・軽二輪 …登録台数

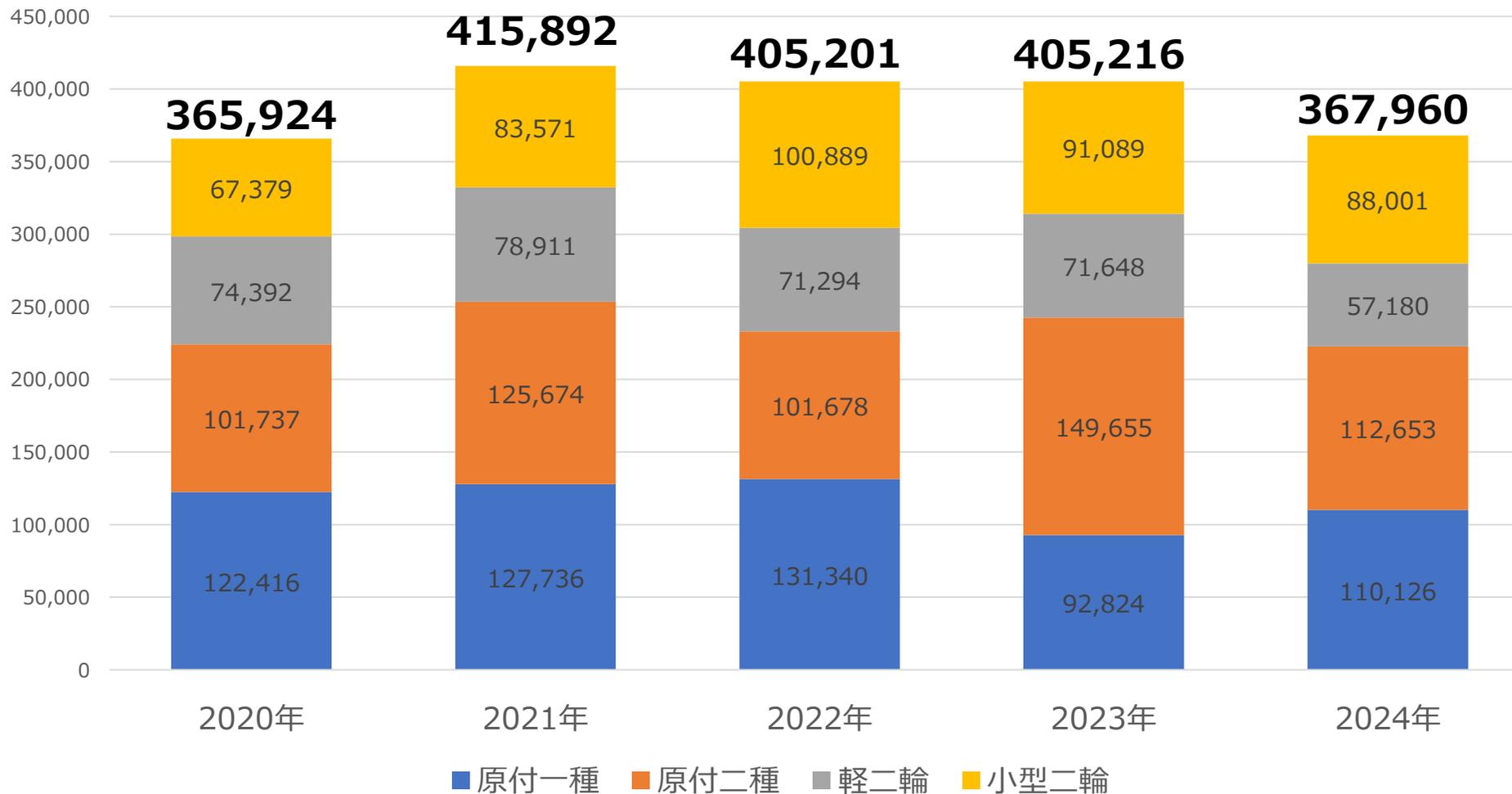
※原付二種・原付一種…出荷台数

排気量	台数	前年比
小型二輪	88,001	96.6%
軽二輪	57,180	79.8%
原付二種	112,653	75.3%
原付一種	110,126	118.6%
合計	367,960	90.8%

2020年～2024年 二輪車排気量別登録・出荷実績

自工会調べ

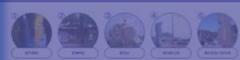
※小型二輪・軽二輪 …登録台数
※原付二種・原付一種…出荷台数



MOTOINFO情報発信



BLF関連イベント



バイクの日イベント



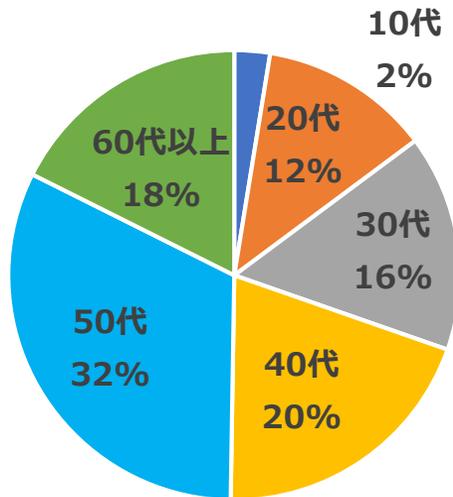
2024年 バイクの日来場者アンケート

- 日時 8月19日 (月) 12:00~17:00
- 対象 来場者
- 手段 QRコード読み取り
- お礼 オリジナルステッカープレゼント



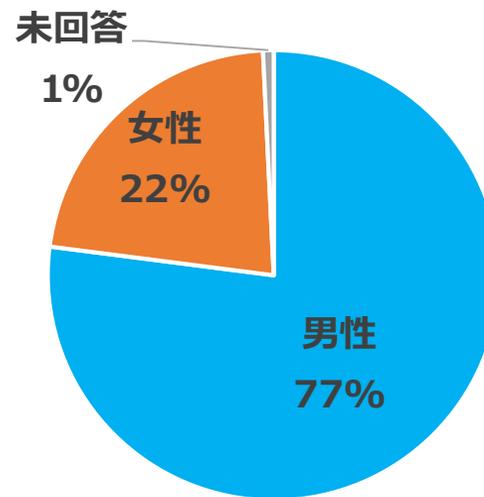
N数 = 392

年代



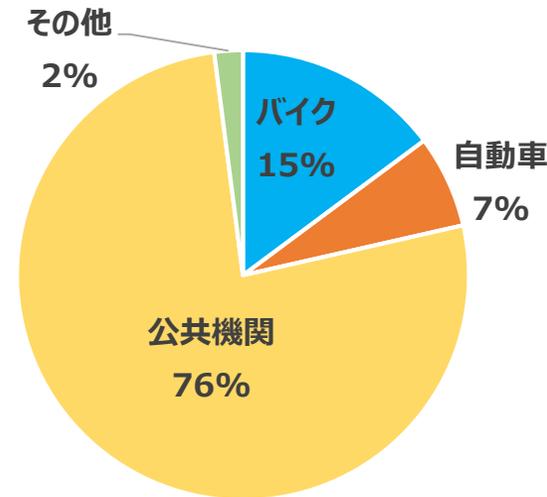
40代以下で50%を超える

性別



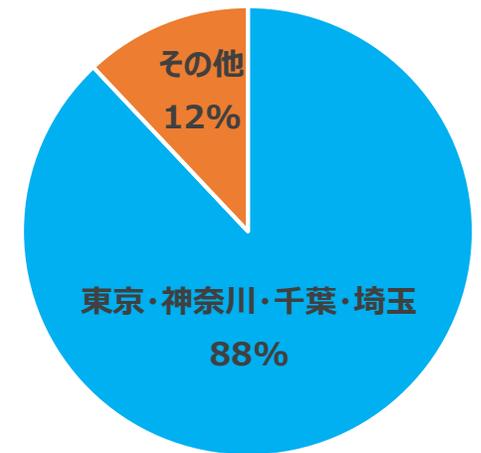
女性比率が22%と非常に高い

来場手段



会場がバイク駐車場を備えており
バイクでの来場も多い

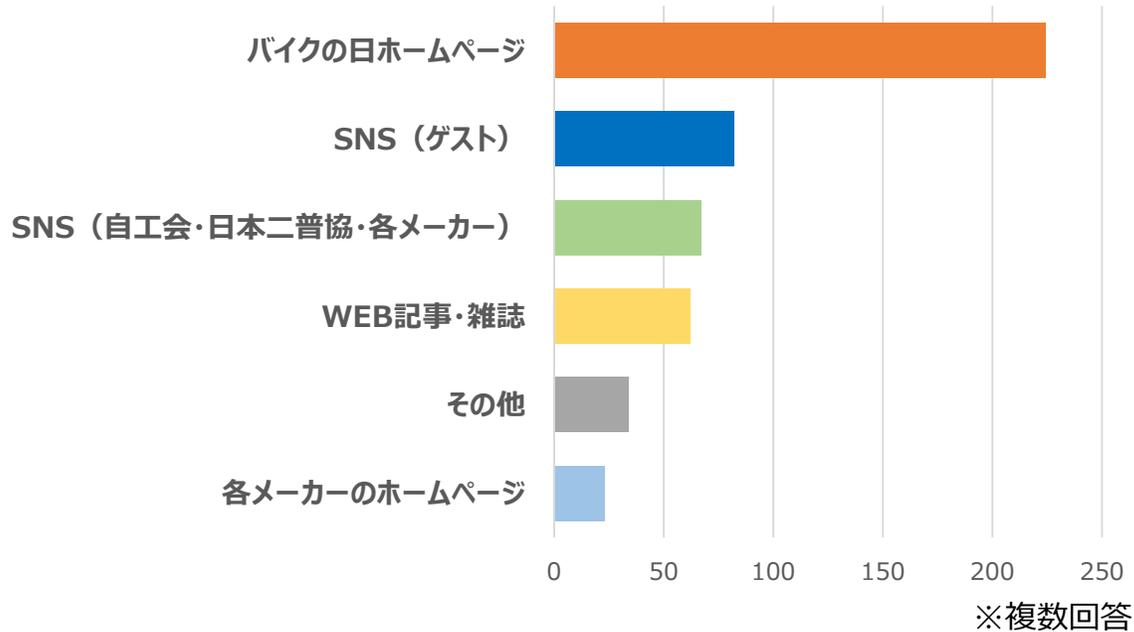
居住地



来場者の中心部は首都圏近郊

2024年 バイクの日来場者アンケート

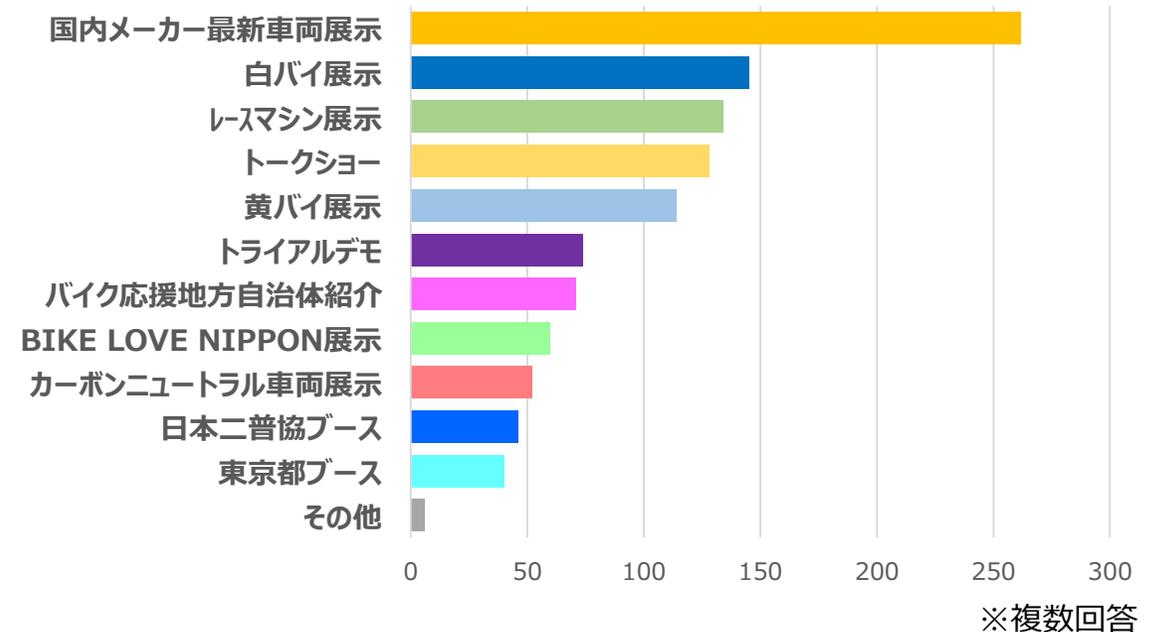
認知



認知経路はバイクの日のホームページが多く
次いでゲストのSNSを通じて参加された方が多い

楽しめた事

N数 = 392



気軽に「見て・触れて・跨げて」の国内最新モデル展示をはじめ
様々なバイク展示により多くの方にイベントを楽しんで頂けた

中高年ライダーのマナー

シニア層の事故増加

2025年 国内二輪市場の展望



4つの政策課題

事故死者数ゼロ

カーボンニュートラル達成への貢献

購入・利用環境の整備と社会・他モビリティとの共生

快適・楽しさの訴求

11の施策





大切なファンづくり

バイクの魅力を伝える心構え

jama



内面からあふれる“カッコよさ”



思いやりのある運転マナー



スマートさ



高い安全意識

画像引用：MOTOINFO記事

Copyright© Japan Automobile Manufacturers Association, Inc.

16

引用：第10回メディアミーティング



あこがれる存在

本気で楽しむ

MOTOINFOを通してこれからも魅力的な情報発信をいたします

バイクの日

8月19日 (火)
アキバ・スクエア

BIKE LOVE FORUM

9月19日 (金)・9月20日 (土)
埼玉県小鹿野町

開催決定



質疑応答

総評

日本自動車工業会

常務理事

江坂 行弘

日本自動車工業会
二輪車委員会 委員長

設楽 元文

(ヤマハ発動機株式会社 代表取締役 副社長執行役員)

抱負

フォトセッション



jama
Japan Automobile Manufacturers Association